



昴の今日と明日 IV

書くことのすすめ

昴☆共生社会研究所 所長 山崎晃史(ハロークリニック相談支援室)

お久しぶりです。この「昴の今日と明日」は、初代理事長佐藤進氏(埼玉県立大学名誉教授)が法人職員にさまざまな情報を紹介し、進むべき方向性を示していた通信に端を発します。現在、「INCLUSION Journal」がオール昴の情報誌的役割を担っていますので、こちらは別冊として昴☆共生社会研究所の活動を中心に発信する所長通信として再スタートすることにします。

昴☆共生社会研究所は理事会、経営企画室で課題となっている事項を研究するシンクタンクであるとともに、職員の自主的な学びをバックアップする役割を持っています。

その一環で「マイオピニオン」という取り組みを行っています。思いや主張のある職員がそれをA4一枚の文章にするのです。私が、その文章の推敲に付き合い、漠然としていた考えを人に伝わる文章へと高めていくお手伝いをします。完成したらインクルージョンジャーナルや年1回刊行の研究誌「共生社会研究」に掲載します。

仕事を進めていく上でも、プライベートを充実させて

いく上でも、書くことによる学びやプラス効果はひじょうに大きいものがあります。

自分の考えを人に分かるように伝えることができないと、ミーティングでも、記録を書くことでも、ケア会議でも、支援計画作成でも、事業計画作成でも、引きつぎ時の申し送りでも、説得力を持たせられず仕事が行き詰まってしまいます。

また、これからはそれぞれがキャリアプラン(職業人としてどのような方向を目指し、そのためにどのような過程を想定するかイメージ)を持つことが勧められているところです。その時に、自分の持ち味を把握し、考えを整理し、計画を立てて明確化する必要があります。そこで、考えをまとめるクセをつけておく役立つのです。

文章を書くなんて中高生の作文以来でハードルが高いと躊躇するかもしれませんが、ぜひ名乗りをあげて書くことを通じた自己研修にトライしてみてください。

共生社会研究第4号の発行予定のお知らせ

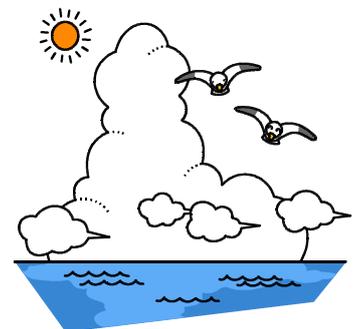
8月30日発行予定

ISSN番号取得 全号国立国会図書館収蔵

冊子版 ISSN 2433-3662 オンライン版 ISSN 2433-3735

オンライン版バックナンバーは昴☆共生社会研究所ホームページからダウンロードできます

<http://kyoseishakai.wix.com/subaru>



新たな所友の先生 ご紹介

共生社会研究所の活動にご協力をいただく「所友」として、この8月から新たに4名の先生方が加わります。

◎腰越滋先生(東京学芸大学)・・・教育社会学:教育を社会学的視点から研究をしている先生です

◎鈴木美佐子先生・・・言語聴覚療法(Speech-Language Pathologist):ハロークリニック元職員で米国オレゴン州にてご活躍です

◎加藤尚子先生(明治大学)・・・臨床心理学:愛着障害や児童虐待関連が専門の先生です

◎沼澤秀雄先生(立教大学)・・・トレーニング科学:元陸上競技アスリートでコーチングやトレーニングの専門家です